

令和2年度 一人一人の確かな学力のために

3年

		学年の目標	2学期中間の児童の様子	3学期末の児童の様子
基礎・基本	国語	<ul style="list-style-type: none"> 漢字の定着(まとめの50問テスト90点以上を8割以上)を目指します。そのために、小テストを週1回程度行い、間違えは必ず直す習慣を付けさせます。 国語辞典を正しく引く力や習慣を付けます。そのために、必要ときにすぐ辞書を手に取れるよう、マイロッカーにおき、国語の時間には机の上に置く習慣を作ります。 物語、説明文が正しく読み取れるようにします。そのために、根拠となる文章に着目させることを行います。また、あらすじや要約を書くことで文章の要旨を捉えられるようにします。 	<ul style="list-style-type: none"> 小テストを定期的に行い、間違え直しを行いました。50問テストでは、90点以上は2～3割程度にとどまっています。ただ書くだけでなく、意味を意識して練習することを意識させていきます。 国語辞典の引き方を学び、9割の児童が早く引くことができるようになりました。わからない言葉が出てくると、調べようという習慣が付いてきている児童も増えてきています。 意見の根拠となるところが文章のどの部分にあるのかを繰り返し聞くことで、読み取る力は伸びてきています。あらすじや要約をすることも継続して指導していくことで、力を伸ばしていきます。 	<ul style="list-style-type: none"> 50問テストでは、90点以上取ることができている児童は、半数以上、再テストを含めると8割程度の児童が取れるようになりました。 国語辞典の引き方は正しくできるようになりました。意味の分からない言葉が出てくると、自然に調べる姿も多く見られるようになり、単語を調べる力が付きました。 本文の中から考えの根拠となる文章を見付けることができるようになり、読み取りの技術が伸びました。あらすじや要約もできる児童が増え、文章の大切なところを読み取れる力が付きました。
	算数	<ul style="list-style-type: none"> 既習事項の定着を図るために、計算ドリルを活用して繰り返し問題に取り組ます。必ず答え合わせを行って間違いを直す習慣を付けるようにします。 単元のテスト直しを実施し、必ず内容が理解できるようにしていきます。 上記の事を行い、知識・技能の項目を全員が9割以上定着できるようにします。 	<ul style="list-style-type: none"> わり算、かけ算の筆算と新しい計算の仕方を学習しました。学習後すぐのテストではできていても、時間がたつと忘れてしまう児童もみられるので、定期的に宿題に出していきながら定着を確実なものとしてきています。コンパスを使っての作図も同様に、繰り返し宿題等に出して確実に身に付くようにします。 	<ul style="list-style-type: none"> まとめテストから、知識・技能の項目は、7割以上の児童が、正答率9割を超えることができました。かけ算の筆算、あまりのあるわり算といった新しく習った計算問題や、円、角などの用語の理解もすることができました。また、コンパスを使っての円や二等辺三角形、正三角形の作図も、自主学习で行ったり、定期的に宿題として出すことで確実に作図することができるようになりました。
	その他	<ul style="list-style-type: none"> 読書の習慣を身に付けさせます。そのために、朝読書の時間、図書室の時間を活用し、本に親しむようにさせます。読書環境を整え、教科に関連した本を紹介したり、マイブックを用意していつでも本を読めるように指導したり、読書貯金箱(読書カード)に記録し、年間で5000ページの目標を与え、随時振り返りをし到達度を確認します。 パソコン技能向上のため、インターネットでの検索、ローマ字入力、簡単な発表資料の作り方を指導し、全員ができるようにします。 	<ul style="list-style-type: none"> 朝読書や休み時間などを使って読書に親しんでいます。総合的な学習の時間では、オリンピックパラリンピックについて本で調べたことをまとめる学習を行っています。5000ページ達成した児童は数名います。多くの児童が目標を到達できるよう頑張っています。 国語の時間には、ローマ字のタイピングを、総合的な学習の時間では、インターネットを使っての調べ学習やプログラミング教育を行い、技能向上を行っています。パソコンを使っての資料作成は3学期に行っていきます。 	<ul style="list-style-type: none"> 読書活動では、今までより細かい文字で書かれている小説を読んだり、図鑑で細かいところまで読んだり読書の幅が広がりました。調べ学習では、目次、索引を使った調べ方を全員ができるようになりました。5000ページ達成した児童は半数程度になりました。 インターネットを使い、調べたい事柄について調べることができるようになりました。ローマ字入力は完璧にできる児童は少なく、タイピング練習を重ねて少しずつ打てるようになっていく段階です。
思考力・判断力	思考力・表現力	<ul style="list-style-type: none"> 自ら課題解決をする児童を目指します。そのために、授業のはじめにめあてを明確にし、見通しをもって学習に取り組めるようにします。課題解決の流れが分かるようにノート指導を行います。授業のおわりには、児童が、自分の言葉でまとめられることを目指します。 自分の考えをもち、友達に伝え合う児童を目指します。そのために、考える時間を十分確保したり、友達の意見を受けたりしながら考えを発表している児童を賞賛し、学び合う力が身に付くようにします。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業のめあてを示し、課題を的確に理解することで、めあてに向かって学習に取り組んでいます。ノートも黒板の文字を写すだけでなく、自分の考えを入れて書く児童も見られています。手本を示しながら、全員ができるようにしていきます。 伝え合う時間を取ることで、7割の児童が自分の考えを伝えることができている。うまく伝えられない児童には、友達の発表の仕方の良い所を示すなどして広げていきます。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習している単元やその時間に身に付けるべきめあてを明確にすることで、学習に集中して取り組むことができました。まとめも自分たちのことばでまとめようとするようになってきたり、ノートも学習の流れがわかりやすいよう書いたりする児童が6割程度と増えました。 発表等で自分の考えを入れて伝えることができる児童が8割以上に増えました。友達の良い所を真似してみたり、「なぜなら」「次に」など接続語を入れて話すことができるようになりました。
	学習習慣	<ul style="list-style-type: none"> 話す・聞く態度を意識できるようにします。そのために、話し方名人、聞き方名人を掲示し、相手の顔を見てうなずきながら最後まで聞くこと、友達に伝えることを意識して話すことを指導します。 家庭学習の時間を、毎日45分間(15分×3年生)取り組むことを目指します。そのために、児童の実態に応じて自主学习を推奨したり、模範となる児童の取り組みを紹介し、参考できるようにします。 家庭学習の提出率を毎日95%以上目指します。そのために、未提出児童には声掛けや家庭への連絡をおこなったり、児童の実態に応じて休み時間や放課後に指導したりします。 	<ul style="list-style-type: none"> 話す聞く態度を常に意識しているのは、5割程度にとどまっています。途中で勝手に話すのではなく、最後まで話を聞くということを常に意識させていきます。 家庭学習期間では、目標の45分間は9割ほどの児童が取り組みました。 宿題は、毎日9割の児童が提出しています。未提出の児童には、声掛けをすると提出しますが、毎日確実に提出できるようご家庭でも声掛けしていただくようお願いします。 	<ul style="list-style-type: none"> 話す聞く態度はとてもよくなり、8割の児童が常に意識して話を聞くようになりました。最後まで黙って話を聞く力が付きました。 家庭学習期間では、2学期末と同様、目標の45分間の学習を9割程度の児童が継続して取り組むことができました。 宿題の提出は、毎日9割程度の提出率です。家庭学習期間になると意識をしますが、それが継続に結びつけられるようにしていく必要があります。